

## 伝統酒類の飲酒動機調査について

酒類総合研究所では、平成 19 年 2～3 月に、近年、消費が逡減している伝統酒類（清酒、ウイスキー及びビール）について、1 年前と比較してその消費を増やした人の理由などを調査しました。酒類の消費数量が減少している状況は、飲酒を止める人と新たに飲酒をする人の収支を反映したものと考えられますが、飲酒の回数・量が増加した理由を解明することができれば、各酒類の消費回復につながる有効な情報が得られるものと考え実施しました。

調査結果：

[清酒・ビール・ウイスキーの飲酒動機に関する調査, 酒類総合研究所報告第 180 号](#)